

一人一人が備えてこ！

防災力UP！鳥羽

総務課防災危機管理室

☎ (25) 1118

vol.43

緊急地震速報について知っておこう

どんなときに発表されるの？

緊急地震速報は、地震により予想される最大震度が5弱以上であるときに発表され、震度4以上が予想される地域に対して到達時刻や震度を可能な限り素早く発表し、もうすぐ強く揺れることを知らせてくれるものです。テレビやラジオ、防災行政無線、携帯電話端末などで報知音が鳴ります。

これとは別に、学校・保育所や漁協などの団体でも緊急地震速報の受信端末を整備している場合があります。個々の利用者の用途に合わせて、任意の地点での予想した震度や主要動到達時刻を入手することができ、予想された主要動到達時刻と端末の内蔵時計との差によりカウントダウンする機能もあります。



注意
緊急地震速報を発表してから強い揺れが到達するまでの時間は、長くても十数秒から数十秒と極めて短く、震源に近いところでは速報が間に合いません。また、予測された震度に誤差を伴うなどの限界もあります。

家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する。
- あわてて外へ飛び出さない。
- むりに火を消そうとしない。



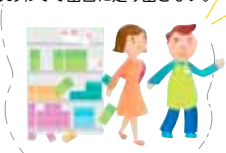
自動車運転中は

- あわててスピードをおとさない。
- ハザードランプを点灯しまわりの車に注意をうながす。
- 急ブレーキはかけず、ゆるやかに速度をおとす。



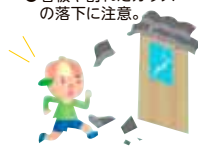
人が大勢いる施設では

- 係員の指示に従う。
- あわてて出口に走り出さない。



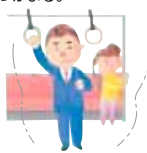
屋外（街）では

- ブロック塀の倒壊に注意。
- 看板や割れたガラスの落下に注意。



鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりとつかまる。



エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させすぐにおりる。



みなさんは、NHKの朝の連続テレビ小説は、ご覧になっているでしょうか。第1作目は、1961年「娘と私」というドラマで、唯一、主人公に特定の名前がないドラマだったようです。現在放送中の「べっぴんさん」で95作目となります。過去には、志摩市や尾鷲市が舞台となったドラマもあるようです。（おしん、君の名は、旅路）ドラマの時代設定は、すべて明治以降が舞台ですが、江戸時代が描かれたのは2015年に放送の「あさが来た」だけだそうです。明治から昭和初期を舞台にしたドラマでは、女性は軽視され、まだまだ地位も低い時代であり「どんな逆境でも辛抱強く、立ち向かう強いヒロイン」が多く描かれているように思われます。（おしん、おはなはんなど）

時代は移り、終戦後から高度成長期を舞台としたドラマでは「まだまだ女性が進出していない職業で頑張るヒロイン」が多く、女性の人権や地位向上が進みつつある時代だと思われれます。（はね駒、ひらりなど）平成から現代が舞台になると男女共同参画の意識も進み「女性の自己表現」がテーマとなっているそうです。（ちゅらさん、まれなど）もちろん、男性が主人公となっているドラマもありますが、10作しかないそうです。連続テレビ小説は、描かれた時代の女性の等身大の姿が描かれていて、ドラマの視点が常に女性であると思われれます。「男女共同参画」と考えた時に、非常に参考になるものではないでしょうか。



イコール パートナシップ

Vol.124



連続テレビ小説

市民課人権・生活係

☎ (25) 1126